

## 21 率先避難や呼びかけ避難体制の構築

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
		<input checked="" type="checkbox"/> 呼びかけ	
自治体	山口県山口市		

問合せ先：山口県山口市 防災危機管理課

### 取組概要

- 災害時の緊急連絡網を活用し、**各地区の防災リーダーが中心となって、情報伝達や実動避難の訓練を行っている。**こうした訓練を通じ、**率先避難や呼びかけ避難体制の定着**を図っている。

### 取組のきっかけ

- 「平成30年7月豪雨」の検証結果を踏まえ、災害リスクを抱える地域で、地域住民による自主的な避難体制づくりを県と市町が一体となって推進する必要があった。
- この地域では、以前から高潮被害のリスクが高く、高台等への早期避難が課題であった。
- 住民の高齢化や、住民ごとの防災意識の違いの解消が課題であった。

### 取組のポイント

- この地域では、以前から緊急連絡網を作成。地区内で避難所を決め、台風接近時や避難情報の発令時等に住民へ避難を呼びかけるなど、率先避難・呼びかけ避難体制づくりを推進してきた。
- より多くの住民が適切に避難できるよう、住民の防災意識の更なる向上を図るため、地区の防災リーダーが中心となって、地区住民を対象として、情報伝達や実動避難の訓練を実施。
- こうした避難訓練の際にも、災害時に住民間で「逃げて」というメッセージを発信することを意識づけることで、率先避難・呼びかけ避難体制の構築と定着を図っている。
- 訓練の機会に併せて、避難先において防災講話を実施することで、より高い効果と新たな課題の発見へとつなげている。

▼避難訓練の様子



▼防災講話の様子



### 取組の効果

- 令和4年9月3日～6日（台風第11号）：開設避難所2箇所、避難者数10名
- 令和4年9月16日～19日（台風第14号）：開設避難所2箇所、避難者数10名
- いずれも台風接近の数日前から、防災リーダー等が中心となり、連絡網を活用して避難の呼びかけを行うとともに、避難者の把握、避難所の開設準備等を実施